**「第29回技術論文」本文は、図・表を含み3,200字以上～4,000字　４ページ以内**

**（参考文献等の記載は文字数に含まない）「1.はじめに」からの字数**

* **本文****：MS明朝10.5／2段組み／22文字×39行（1ページ目は28行）の規格で作成すること**
* **5ページ目に【要旨】100～200字程度（2～5行)を記入すること**
* **英数字は半角、カタカナは全角で入力すること**
* **図表の分量は各ページの半分以下とすること　　※応募原稿ではこの枠は削除願います**

**※応募資格：主執筆者・共同執筆者共に**

**土木施工管理技士1級または2級（技士補を含む）もしくは技術士（建設部門）**

題名：簡潔につける（長くても全角30文字程度）

所属技士会名：●●●土木施工管理技士会（※技士会会員でない場合は無所属と記入）

会社名：

主執筆者　　 氏名：　　　（役職←空欄でも可）（資格者証交付番号or合格証明書番号を記入）

共同執筆者１　氏名：　　　（　　　〃　　　　）（　　　　　　　　 〃　　　　　　　　　　）

共同執筆者２　氏名：　　　（　　　〃　　　　）（　　　　　　　　 〃　　　　　　　　　　）

１．はじめに（適用工種・工事概要を含む）

**※工事概要から書き始めない**

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

工事概要（できるだけ省略し、本文の量を多く）

(1) 工 事 名：□□□□□

(2) 発 注 者：□□□□□

(3) 工事場所：□□□□□

(4) 工　　期：□□□□□

２．現場における課題・問題点

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

３．対応策・工夫・改善点と適用結果

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

表は、**表の上**に、

番号とキャプションを表示する

４．おわりに（他の現場への適用条件・今後の留意点等）

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

↓CPDS**未**加入者は下記をご記入ください↓

※図や写真、データなどを他から引用した場合は、その出典を明記すること

※図（写真）・表は、印刷時（白黒）に鮮明に表示されるか確認すること

※図表は、以下のように表示する

図-1　タイトル

図と写真は、**図の下**に

番号とキャプションをつけ表示する

（写真も図とみなします）

表-1　タイトル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**要　旨**100～200文字程度（2～5行）

**例を参考に、どのような課題に対してどのような工夫をして解決したか、を簡潔にお書きください。**

例1 　長大かつ大断面トンネル掘削工期の短縮のために、ドリルジャンボの削孔機のフィード長を延長し、掘進発破からロックボルト工へ移る際のロッド交換を不要にして、ロッド交換によるサイクルロスを排除したことなどにより大幅に工期を短縮した。

例2 　湾岸道路高架橋の下部工橋脚をニューマチックケーソンで施工するにあたり、仮設桟橋の構築に鋼管杭工法と鋼殻吊降し工法の当初設計から袋詰め根固め工法に変更したことで経済性・品質・安全性・施工性をアップさせ、計画時の問題を解決した。

**【要旨】**